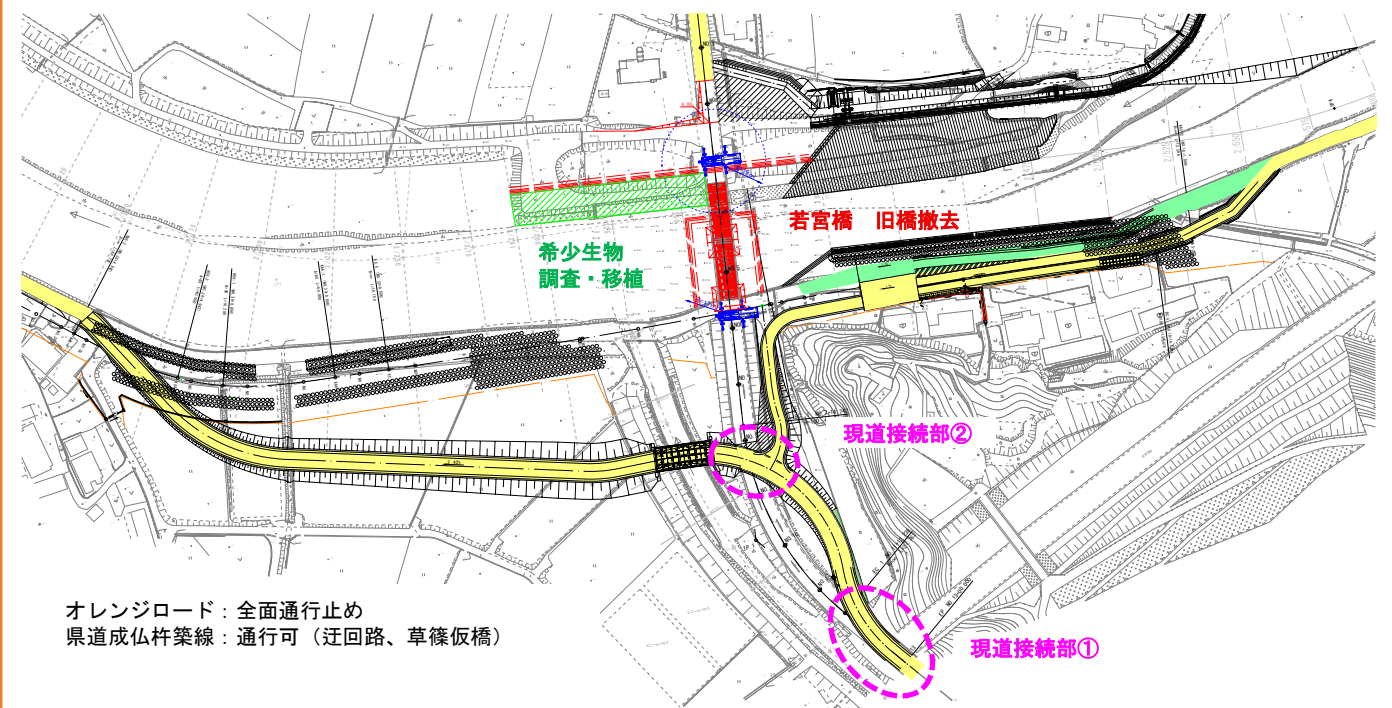


位置図



迂回路平面図



設計概要

- 高山川河川改修事業に伴い、架け替えが必要となる若宮橋(オレンジロード)は、現況交通を確保するために仮橋が計画されていた。  
しかし、早期の整備効果発現及びコスト縮減を目的に、仮橋を設置せずに若宮橋を全面通行止めとする施工計画概略検討(事業工程表、施工ステップ図)を行う。

施工者からの意見および対応方針

○改善事項

■現道接続部①

- 下層路盤まで舗装打換えとしているが、一定の施工日数が必要となる。極力規制日数を抑えるために、表層のみ打換えや区画線引き直し程度とするのが良い。  
→ 上記内容の迂回路計画に変更とする。

○確認事項

■電柱移設

- 支障となる電柱の移設工事を先行して実施し、事業工程の円滑化を図る。

■草篠仮橋 仮設ヤード

- オレンジロード側に施工ヤードの進入口を設ける案が挙げられたが、仮設盛土構築時に片側交互通行規制が生じることや施工ヤードのスペースが当初計画と大きく変わらないなど、オレンジロード側進入口案の利点がないことから、当初計画(成仏杵築線側に進入口を設ける)とする。

■草篠仮橋 重機の輸送路

- 高山川下流側は、現況の交差点が狭く輸送路として適さないため、重機等の輸送路は高山川上流側からとする。また、輸送路のコントロールとなる若宮橋高架下の高さ制限は 4.1m に対し、草篠仮橋上部工の架設で使用する 70t 吊クローラークレーン(本体高:3.8m 程度)が通行可能で問題ないことを確認する。

■現道接続部②

- 迂回路工事の最後に行う区間とし、工事完了後に即時旧橋撤去工事に入るのが望ましい。

■宅地前道路嵩上げ(若宮橋上流左側)

- 一般車両通行帯を確保するために、計 4 回の道路切替えを行い、道路嵩上げ工事を実施する。

現地条件(現地状況)

- 県道成仏杵築線 : 現況交通量 362・709 台/日(平日・休日 12h) ※R7 交通量調査  
道路幅員 全幅 W=5.0m 程度(第 3 種第 5 級相当)、一部 5.0m 未満
- オレンジロード : 現況交通量 660・1,056 台/日(平日・休日 12h) ※R7 交通量調査  
道路幅員 市道部…全幅 W=7.0m 程度(第 3 種第 4 級相当)  
若宮橋…全幅 W=7.8m(有効幅員 W=7.0m)
- 河川 : 高山川、草篠川

施工計画概要

- 整備方針 : 若宮橋:仮橋なし、草篠橋:仮橋あり
- 交通規制 : オレンジロード:全面通行止め(R9 年~R13 年、約 5 年)  
: 県道成仏杵築線:通行可(コミュニティバス路線に該当)
- 事業完了時期 : R14 年度完成予定

計画平面図

